

住友化学 i-農力だより

<http://www.i-nouryoku.com/index.html>

第100号 平成25年4月26日
発行 住友化学(株) アグロ事業部
お客様相談室 0570-058-669
編集者 太田有香
発行責任者 南 圭三郎

目次

ご挨拶「i-農力だより100号に寄せて」	p.1
農家さん訪問記 (84)	p.2
住友化学アグログループ紹介 住化グリーン(株)	p.6
今月の肥料紹介	p.7
今月のお奨め農薬	p.8
お役立ちプチ情報	p.9
農薬登録情報	p.10
病害虫発生情報	p.10
ひまわり農園奮闘記	p.11
(100号記念)農家さん訪問記ウラ話	p.12
(100号記念)編集メンバー紹介	p.14
通販のご紹介(日本エコアグロ(株))	p.15
編集後記	p.16



ヒヨドリ(ヒヨドリ科)とモモ(バラ科)
富樫 信樹 画

住友化学 i-農力だより 100号に寄せて

常務執行役員 西本 麗

いつも「住友化学 i-農力だより」をお読みいただきありがとうございます。ごぞいます。

2005年1月に「住化・住武 相談室だより」として発行を開始し、毎月休まずお届けして参りましたが、今回で節目の100号となりました。現時点で4,400名を超える会員の方にご登録をいただいております。特に2006年2月の14号から連載を開始した「農家さん訪問記」は文字どおり看板記事として、単なる会社の一方的なニュースとは一線を画し、我々と農家さんをつなぐと共に、農家さん同士の情報交換のお手伝いともなるという「i-農力だより」の大きな特徴ではないかと自負している次第です。

創刊の意図を引き継ぎ、弊社ならびにグループ会社の製品・技術の紹介、登録情報や病害虫情報等の技術普及のお知らせ機能を更に充実させていく予定です。そのためにも、皆様からのご要望、ご助言を是非いただきますようよろしくお願い申し上げます。

また、前号で貫事業部長が「日本の農業を元気にする」目標に向け弊社の様々な取組みを紹介しましたが、今後具体的な活動状況を報告することも考えてまいります。

最後に、私は本年4月1日付けで、健康・農業関連事業部門統括を拝命しました。今後とも日本の農業の発展の為に役に立てようアグロ事業部、グループ会社一丸となって取り組んでまいりますので、引き続きご支援いただきますようお願い申し上げます。



[目次へ戻る](#)

農家さん訪問記(84)

トマトづくりは家族で楽しく元気がモットー

桜の開花が10日以上も早くなった関東地方、中でも温暖な千葉県でトマト栽培を営む田中幸一さんのお宅を訪問しました。田中さんの圃場（施設）がある長浦は弊社の千葉工場（袖ヶ浦）にも近く、ご近所へ行くような気持ちでした。（取材日 2013年3月22日）

トマト栽培に適した場所ではなかった長浦地域



田中幸一さん

44歳の田中幸一さんは袖ヶ浦市長浦地区で現在3棟（全面積約40アール）のハウスで大玉トマトを約10年間栽培しています。長浦は県内のトマト産地である富津や上総一ノ宮と比べるとトマト栽培に適した場所ではないそうです。夏は暑く、冬は寒い内陸性気候で、周辺にトマトを栽培している農家さんは田中さん以外には1軒しかありません。何故この場所でトマト栽培を始めたのか、そここのところからお話を伺うことにしました。取材当日は運よく、トマト栽培を始めた田中さんのお父様、新市さんがおられ、ご子息の幸一さんへ引継ぐまでの苦労話もお聞きすることができました。

土耕栽培を水耕に換えたわけ

田中家はもともと畑作農家でした。お父さんの新市さんはご両親が早世されていたことで、反対する人がいなく、自分の好きなことをやろうと、36年前（昭和55年）ご夫婦で年一作の土耕のトマト栽培を始めたそうです。それは新市さんが35歳の年です。火山灰土壌はセンチュウ対策が必須で土壌消毒を毎年実施しなくてはなりません。そのセンチュウを死滅させるためには水を張るのですが、火山灰土壌では水が溜まりません。また、夏場の暑い時期に堆肥を入れる作業も重労働で、そのために昭和63年に土耕はあきらめ、現在のロックウール栽培（養液栽培）へと転換しました。栽培システムは、(株)誠和製で当時は開発したばかりだったこともあり、1年目は培地温度が不足し期待した成果が出なかったそうです。その後、メーカーと試行錯誤を重ねた結果、2年目からは順調に収穫があがるようになり、そこで3年目に1棟増やしました。また当時はバブル期であったことも追い風になり思いのほか収益があったとのこと。新市さんは当時のことを振り返りながら、自分についてきてくれた奥さんには大変感謝していると話されました。



ハウス内でたわわに実るトマト

お父さんの病気でトマトづくりを引き継ぐ決意



幸一さんご自身は学校卒業後、企業に就職されました。会社は農業と全く関係のない電機設備関係でしたが、転機は35歳の時に訪れました。それはお父さんが体調を崩され入院したことです。そのとき、これまで両親が築いてこられたトマトハウスや栽培技術を一代で終わりにするのはもったいないと思ったそうです。両親には相談することもなく、会社を辞めてトマト栽培を継ぐ決意をしました。当時、全く農業経験の

ない幸一さんの奥様が賛成してくれたことは、今も感謝しているそうです。親子そろって奥様には頭があがらないようです。そして、お父さんの新市さんと同じ35歳の時に人生の岐路に立ち決断したのはなにか運命的なものを感じますね。幸一さんはいつも心の中でお父さんに「トマトを手掛けてくれていて、本当にありがとう」と、感謝しています。家族と一緒に仕事が出来、自分の思ったとおりにトマト経営が出来ることも大変気に入っているそうです。

3棟のハウスで全国のトマト産地リレーがみえる

さて、本題のトマト栽培について幸一さんにお話を伺いました。現在栽培しているトマトは全て大玉です。3棟（全面積約40アール）のハウスで幸一さんご夫婦とご両親の4人、繁忙期にパートさん2名を雇用し、3品種（ヨーク、麗夏、麗容）で促成栽培と抑制栽培を組み合わせる周年栽培をしています。

自慢は3棟のハウスで植え付け時期ごとに適した品種を選び、年中切れ目なく収穫できる栽培体系です。それは日本の産地リレーを3棟のハウスでやっているのと同じだそうです。この体系を確立するまでには数年間にわたって試行錯誤のご苦労があったようです。その栽培体系表を見せていただきましたが、ハウスごとに細かく設定されており、田中家の企業秘密だそうです。この体系は年中収穫出来て、かつ年1作より楽だそうです。年1作の場合は、トマトの房を20段もとるので収量は多いのですが、収穫・出荷・苗づくり・片付けなどの作業を一度にやるようになるので大変です。幸一さんは少しでも楽な栽培をして収益を上げること（効率化）を日々考えているのだそうで、それがまた楽しいとのことでした。

着果促進剤トマトーン処理で全てのトマトを健康診断

一日の作業ですが、収穫は全員で朝8時から昼まで行います。そして午後1時から2班に分かれて、収穫と選別を3時まで行います。幸一さんは夕方6時すぎに箱詰めしたトマトを市場へ納入して、家にもどると夜8時過ぎになっているそうです。トマトの受粉作業はハチに任せず、ご自身が一つ一つトマトトーンで処理をされています。ハチを使わないのは、トマトの顔を見る（作業をしながら病害虫の発生やトマトの体調を観察する）ためだそうです。トマト1株1株に対する心遣いが幸一さんの栽培技術を支える根底にあると思いました。こんなに働いていたら休みが取れないでしょうとお聞きしたところ「夫婦で泊



りがけの旅行に行けるよ」と軽く否定されてしまいました。以前は子供たちと家族でスキーを楽しんだそうですが、成長した今は部活があり「一緒に行こう」と言ってくれないのが寂しいとお話されていました。

若手農家で「一国者(いっこもん)」を立ち上げ会員同士で勉強会

収穫量は年間約 20 トン/10 アールほどありますが、目標は 25 トンだそうです。目標達成に向けた努力も惜しみません。幸一さんには師と仰ぐ方が栃木県におられ、今年 4～5 回は教を請いに車で通っています。また、幸一さんは地域で「一国者(いっこもん)」という若手農家の勉強会をつくり、会員同士で情報交換を行い、ご自身の栽培技術にも活用しています。トマトのためならどんな情報も貪欲にとるという姿勢がお話の中から感じられました。

また、ここに至るには県の農業普及員さんにもお世話になったそうです。その方は田中さんが「一国者」という勉強会を立ち上げた時に、鹿児島県の焼酎「一刻者(いっこもん)」をお祝いに持参されるなど茶目っ気があり、田中さんのハウスへも足繁く通われ、熱心に指導して下さいました。きっと幸一さんのトマトに賭ける思いが伝わったのでしょう。現在は他の地域に異動されましたが、交流は今も続いているそうです。何と驚いたことに、この普及員さんは弊社の技術顧問のご子息であることが取材中にわかり、これも何かのご縁と感じました。世間は広いようで狭いですね。



ある雪の日のハウス

出荷先は地元の市場と庭先販売

幸一さんのトマトは近くの市場(大一木更津青果)にはほとんど出荷しますが、一部は庭先で販売しています。市場に出荷するようになったのは、産直市場と違って売れ残りがなく、翌日には代金が振り込まれることからです。また、庭先販売を続けているのは近くに新興住宅地が増えたことで、買い物の行き帰りにハウスに立ち寄って下さるお客様が増えてきているからです。我々の取材中も頻りにトマトを買いに来られていました。東京市場への進出についてお聞きしましたが、東京市場は選別が大変で手間もかかるため今のところは考えていないそうです。



ダンボールのデザイン

幸一さんには二人のご息がいます。長男は 18 歳だと伺ったのでお父さんとして期待するところがありますよねと話を向けると、「子供たちの好きなようにさせたい」と言われていました。でもトマト栽培の収支決算書を長男にはいつも見せているとのことで、内心はご自身の後をついで事業拡大してほしいと願っておられるのだと感じました。東京市場の出荷は当面考えていないとのことですが、房な



庭先販売のトマト

りの新しい品種にもチャレンジしたいとお話もあり、ご子息の就農を踏まえ、何か将来に向けた新しい展開を胸に秘めているように感じました。

トマトのことを考えているときが一番楽しい

取材後ハウス内を案内していただきました。定植間もないトマトから、収穫時期を迎えているものまで幸一さんの言う「うちの中で産地リレー」をみることができました。

ハウスの中は通路や畝間にゴミや枯れた葉など目につかず非常に綺麗に管理されており、GAP対応も可能ではないかと思いました。また、素人目ではありますが、トマトの葉の色もよく木もしっかりしているようで病害虫の発生が少ないであろうことがわかりました。

ご趣味を伺ったら、「特段ないよ」と言われていましたが、ハウス内でトマトの話を中心にご説明して下さる幸一さんを見て

いると趣味はトマト栽培なのだとわかりました。ご両親とご夫婦4人で**楽しく農業をされている**ことが話の端々に感じ取られたので、きっとご子息も栽培を継がれると思います。親子3代で美味しいトマトをこれからも栽培してほしいと願いつつ長浦を後にしました。(黒田、古津)



お母さんのふみ子さんとお父さんの新市さん

☆取材に際して根本商店の根本社長にお世話になりました。

紙面をお借りして御礼申し上げます。

[目次へ戻る](#)

住化アグログループ紹介

住化グリーン株式会社

芝生の病気のお話

芝生には病気が発生します。特にゴルフ場では景観を損なうだけでなく、プレーにも影響があり、防除が重要です。今回は、ゴルフ場に発生する**代表的な病気**についてお話します。

**葉腐病(ラージパッチ)**

ゴルフ場では主にフェアウェイのコウライシバやラフのノシバで見受けられ、春や秋に発生し、パッチを形成します。

病原菌はリゾクトニア属です (*Rhizoctonia* 属)。

防除薬剤: リゾトップ グランサー水和剤

葉腐病(ブラウンパッチ)

ゴルフ場では主にグリーンของベントグラスで見受けられ、パッチを形成します。

病原菌はリゾクトニア属です (*Rhizoctonia* 属)。

防除薬剤: SG ダコグリーン顆粒水和剤 バリダシン液剤 5

**ダラスポット病**

ゴルフ場では主にグリーンของベントグラスで見受けられますが、近年、日本芝にも発生する事もあります。

名前はアメリカ通貨のドル硬貨の大きさのパッチを形成する事に由来します。

病原菌はスクレロチニア属です (*Sclerotinia homoeocarpa*)。

防除薬剤: 緑化用ベンレート水和剤



他にも擬似葉腐病・フェアリーリング・ピシウム病・赤焼病などまだまだ沢山の病気があります。芝生もきちんと管理しないと病気が発生する場合がありますがおわかり頂けたと思います。



住化グリーン株式会社

東京都中央区八丁堀 4 丁目 5 番 4 号

電話 03 3523 8070

http://www.sumika-green.jp/

[目次へ戻る](#)

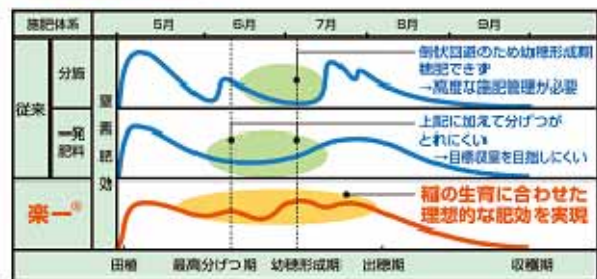
今月の肥料紹介 倒伏軽減剤入り 水稲用基肥一発肥料 **楽一**

使うならまさに今。水稲基肥に、ぜひご検討ください。



倒伏軽減剤入りで収穫作業の省力化
 基肥一発で施肥作業の省力化
 安定した作柄で安定多収の米作り
 米質向上、くず米減少が期待できる米作り

肥効イメージ (平坦部・コシヒカリの場合)



銘柄	N-P-K	ウレコナ ゾール P(%)	移植		湛水直播		登録番号	
			全層	側条 (田植え時)	全層	側条 (は種時)	肥料	農薬
楽一 21	21-11-10	0.004		-			86573	21557
楽一 18	18-12-12	0.004		-		-	90142	22450
楽一 20S	20-11-11	0.002		-		-	86572	21560
楽一 20W	20-12-12	0.003	-		-	-	90143	22451
楽一 25	25-10-8	0.004		-		-	86574	21558
楽一 27	27-10-7	0.004				-	86575	21559

全層: 全面施用土壌混和、施用時期: 耕起～代かき時・側条: 側条施用
 : 適用あり - : 適用なし

らくいち/楽一/RAKUICHIは住友化学(株)の登録商標

お問い合わせは 住友化学(株) アグロ事業部 肥料営業部まで 電話 03-5543-5783

[目次へ戻る](#)

今月のお奨め農薬

野菜類・花き類、果樹類のハダニ防除に

粘着くん液剤 ・ 粘着くん水和剤

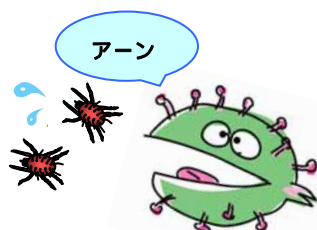
ダニは動物分類では節足動物門クモ綱ダニ目に属し、クモに近い虫です。植物に寄生するダニにはハダニ科、フシダニ科、ホコリダニ科、コナダニ科などがあります。なかでもハダニ科ハダニ類は農作物で最も問題となる重要害虫の一つです。ハダニ類は体長 **0.5mm** 前後と小型で、成虫は脚を8本持ちます。

作物によって寄生する主なハダニの種類が決まっていますが、野菜類・花き類ではナミハダニとカンザワハダニ、りんごではナミハダニとリンゴハダニ、なしではミカンハダニ、カンザワハダニ、ナミハダニ、かんきつ類ではミカンハダニ、茶ではカンザワハダニなどです。体色の赤いリンゴハダニ、ミカンハダニ、カンザワハダニ、赤色系のナミハダニは通称“アカダニ”、緑色系のナミハダニは通称“アオダニ”と呼ばれています。

ハダニ類は種類によって生活史や越冬形態に多少の違いがありますが、いずれの種類も年間 **10** 数世代を繰り返します。特に温室内での繁殖は旺盛です。高温乾燥条件で繁殖が旺盛になり、卵から成虫になる期間は短い場合は **6~10** 日間くらいです。雌 **1** 頭あたり **100** 卵程度産卵するので、短期間に急激に増殖します。交尾した雌が産んだ受精卵からは全て雌が孵化し、未交尾の雌が産んだ卵は全て雄が孵化します。寄生部位での密度が高まると順次上位葉に移動します。さらに密度が高まり過飽和状態になると、歩行や（糸を吐いて）風による飛散、作業員への付着などによる移動を頻繁に行い、未発生地に広がっていきます。

ハダニ類の被害は吸汁害です。主に葉の裏面に寄生し、植物の組織を口器で破壊して吸汁します。被害部の葉緑体が吸われてなくなるため、はじめ葉の主脈に沿って淡緑色に退色します。被害が進むと葉全体が白っぽく退色します。野菜・花き類では下の葉の縁の部分や葉脈部分に現れ、次第に上の葉に広がっていきます。

ハダニ類の防除は早期発見、早期防除が鉄則ですが、ハダニ類は体長 **0.5mm** 前後と小さく、下葉の葉裏にすることが多いため、被害症状が現れてから発生に気付くということが多です。発見が遅れると防除が困難になります。また、ハダニ類は年間の発生回数が多く、防除回数が多くなるため、薬剤抵抗性が問題になっています。薬剤防除では同一系統の薬剤の連続使用はしないようにし、作用性の異なる薬剤を使用してローテーションを守ることが必要です。



注：イラストはイメージです。

粘着くん液剤、粘着くん水和剤は薬剤抵抗性のつきやすいハダニ類の防除にお奨めの薬剤です。粘着くん液剤、粘着くん水和剤はハダニ類、アブラムシ類など小型害虫の虫体を被覆して害虫を窒息や粘着効果により速効的に殺虫効果を発揮します。粘着くん液剤は野菜類、花き類・観葉植物などのハダニ類、アブラムシ類、コナジラミ類に登録があります。また、粘着くん水和剤は果樹類などのハダニ類、アブラムシ類に登録があります。

粘着くん液剤の有効成分は様々な食品に使用されている加工デンプンの1種です。また、粘着くん水和剤の有効成分は天然のデンプンで、有機JAS規格に適合し、有機農産物に使用が可能です。両薬剤とも作業員や人畜への安全性はきわめて高く、またミツバチや天敵類などの有用な昆虫への影響は非常に小さいです。

(鳥取)

[目次へ戻る](#)



カンザワハダニ成虫

新 **お役立ちプチ情報**
シリーズ「害虫の姿」(その1)

・ネギアザミウマ

アザミウマ科：成虫の体長は1.3mm前後で全体に黄色あるいは褐色を呈している。ネギの主要な害虫であるが、他の多くの作物を加害し、インゲンマメやエンドウマメでは花の子房に産卵する。子房の産卵部は小さな白斑点となる。この白斑点は果実の生長に伴って肥大し、「白ぶくれ症」といわれる状態となり、収穫物の品質が低下する。



・ヒラズハナアザミウマ

アザミウマ科：成虫の体長は1.5mm前後で全体に淡褐色あるいは暗褐色を呈している。ネギアザミウマと同様、他の多くの作物を加害する。トマトでは「白ぶくれ症」となり、なす、ピーマンでは幼果が食害され、障害部は果実の肥大とともに褐色になる。また、ピーマンではトマト黄化えそウイルスを伝播し、収量が低下する。



・ミカンキイロアザミウマ

アザミウマ科：成虫の体長は1.5mm前後で全体に黄色から淡褐色の変異があり、夏には黄色型、冬には淡褐色型が多くなる。以前から輸入されたカンキツで確認されていたことから、この名前が付られていたが、1990年代に日本に侵入した。主に花に棲息し野菜類、花き類、豆類、果樹類など多様な作物の害虫である。ヒラズハナアザミウマと同様、トマト黄化えそウイルスを伝播する。



・ミナミキイロアザミウマ

アザミウマ科：成虫の体長は1.3mm前後で全体に黄色を呈している。広く果菜類を加害する。なすでは葉が加害され、葉裏の葉脈沿いに白斑点が生じ、これが拡大し、葉が枯れる。ピーマンでは新葉が萎縮し、展開不良、伸張停止が見られる。果実では被害が進むと凹部が褐色になり、変形果を生じる。トマトやいちごでは成虫の寿命が短く、繁殖もしない。



(山脇)

[目次へ戻る](#)

農薬登録情報 3月27日の主な適用拡大の内容です

詳細はここをクリックしてください。

<http://www.i-nouryoku.com/prod/tekiyou/2013.html>**適用拡大
殺菌剤**

薬剤名及び変更日	変更項目	適用作物	変更前	変更後
ダコソイル (2013/3/27)	総使用回数	キャベツ	TPN の総使用回数 (2回以内)	TPN の総使用回数 (3回以内)
ダコニール 1000 (2013/3/27)	総使用回数	キャベツ	TPN の総使用回数 (2回以内)	TPN の総使用回数 (3回以内)
	病害追加	いちじく	疫病	疫病、黒葉枯病
	作物追加	-	-	花き類・観葉植物(ばらを除く)追加

殺虫殺菌剤

薬剤名及び変更日	変更項目	適用作物	変更前	変更後
スタウトダントツ ディアナ箱粒剤 (2013/3/27)	病害追加	稲 (箱育苗)	-	内穎褐変病追加

(山脇)

[目次へ戻る](#)**病害虫発生情報**

4 / 1 ~ 11

佐賀県

*4月11日 注意報 たまねぎ / べと病

弊社登録剤:ダコニール1000、ナレート水和剤

野菜類: ボルドー(水和剤)

詳細は、

<http://www.pref.saga.lg.jp/web/shigoto/1075/32933/ns-nousisetu/boujocenter/13693.html>

適用内容を確認して、地域に適した薬剤をお使いください。

(古津)

[目次へ戻る](#)

新シリーズ

ひまわり農園奮闘記

お客様相談室長の古津です。私は兼業農家の長男として生まれましたが、子供の頃は親の手伝いで田植えと稲刈りぐらいしか経験がありません。

65歳になったら故郷に帰り、少し野菜を作って近くのJA産直に並べてみようと考えています。幸い、我が家の近くに農業体験農園「ひまわり農園」（写真1）があります。ここでしっかり野菜づくりを学んで経験を積んでみようと思います。

この体験農園は本誌95号の練馬区の体験農園「緑と農の体験塾」加藤義松さんに紹介していただきました。昨年暮れ、早速妻と相談して直接園主の鈴木さんに申し込み、今年の3月から野菜づくりを始めることになりました。

一般の貸農園と体験農園の違いは次の点です。最初、園主さんが先生となって野菜づくりのポイントを生徒（100名）に教えてくれます（写真2）。また、農園には水道や常設のトイレもあり、農機具の鍬や灌水用のジョロもすべて備え付けられています。小屋には肥料、農薬、マルチフィルム、寒冷紗などもあります。そして30平方メートル区画（写真3）に植付ける種いも、苗、種子などは植付する時期ごとに提供いただけます。

配布された植付け表にはどんな野菜を植えるのかびっしりと書き込まれています。植付ける野菜は春から夏にかけて25種類、秋から冬にかけて20種類ぐらいです。また、この農園で10年以上借りて栽培しているベテランさんは園主の補佐として新人にいろいろ手取り足取りして面倒を見てくれます。

3月下旬はだいこん、ばれいしょ、コールラビ、ほうれんそうを植えました。4月始めはだいこん（2回目）、おかひじき、とうもろこしを植えるために、堆肥と肥料をまいてマルチ（写真4）がけをしました。園主さんの話では、堆肥や肥料を施したあと雨が降ると、それらが下に沈むのでマルチをかけてくださいと、代わりに参加した妻が聞いてきました。4月中旬にトマト、きゅうりの定植があります。センチュウ予防にネマトリンを土壌混和し、その横にはマリーゴールドをは種するそうです。 <次号に続く>

（古津）



写真-1



写真-2



写真-3



写真-4

[目次へ戻る](#)

100号記念
特別企画

農家さん訪問記 **かう** 話

これまで多くの農家さんを訪問してきた記者たちが経験した苦労や感動、笑えるエピソードをまとめました。メンバーは全員持ち回りで訪問記を担当しており、いつも自分の番が回ってくるのを楽しみにしています。私も早く「農家さん訪問記」デビューしたいです！
(太田)

取材先への先入観を持たず、また農家さんとの会話を大切するため事前に何も調べないことにしています。初めて見聞したことへの感動が大きいほど取材後の執筆作業のモチベーションが高くなるからです。農家さんの言葉で感銘を受けたことをなるべく記事にすることを心掛けています。営業担当が長かったので農薬の空容器や他社の製品を見て商売っ気が出ないように自制しています。



黒田



鈴木

ちょうど18年前の3月20日のことです。私は当時担当していたベトナムにいました。昼のニュースでサリン事件のことを知り、妻が丸の内線で通勤していたので安否が確認できるまで心配でした。その時の出張は北部ベトナムのお茶栽培農家にパダン水溶剤を売り込みに行ったのですが、その時三重県四日市市水沢町の製茶業者がコストの安いベトナムで業務用のやぶきた茶を栽培するために苗を植え、栽培を指導していたのです。今年1月に水沢町の茶栽培を取材することができ、不思議なご縁を感じました。18年も経てば当時の苗木も大きく育っていることでしょう。

四日市には高校卒業まで住んでいました。鈴鹿山脈に向って西に20分も車を走らせると辺りは一面お茶畑です。小さい時から見慣れた景色だけに農家訪問の際も親しみが湧きました。変化を感じたのは、お茶畑が水平に刈り取られていることです。これは乗用刈り取り機で収穫するからです。以前はかまぼこ型でした。

農家さんのお話を聞くときには、必ずボイスレコーダーを持って行きます。そこでの2発。

使い方が良くわからず、説明書通りにボタンを押して「録音」したのですが、録音終了後、どこかを触ってしまったのか、突然「消去します」とのアナウンスにギグリ！消えてしまったのかと不安でその後ボイスレコーダーを触れませんでした。北海道の農家さん訪問の時でした。録音はしっかり残っており、良い記事が書けました。

その2、苦手なボイスレコーダーなので、電池の残量も確認せず、農家さんを訪問。取材が始まり7分で電池切れになった時には、真っ青な気分になりました。いつもは走り書きのようなメモも、農家さんの言葉を聞き逃さぬようしっかり書きとめ、写真を見ながら農家さんの言葉を思い出しつつ記事を書きました。この時は、記事に誤りがないか事前に農家さんに確認をしていただき、無事に記事を書き上げた時にはホッとしました。千葉県農家さん訪問の時のドジ話です。



手塚



阿部

秋田県の桃農家さんが初訪問でした。桃は夏の果物のイメージがあり、寒いところで栽培できるのかなと疑問に思いつつ、取材に出かけました。

しかし、到着すると一面桃畑が広がっていて、見た瞬間、感動したことを今でも覚えています。

また、寒い土地での栽培に挑戦されたお話を伺い、何事もあきらめずに挑戦することのすばらしさも学ぶことができました。なかなか難しいのですが。

私は先進的な農家さんをインタビューして、次のような共通点があるように思いました。

- 1、会社勤めして農家になった人が多く、その経験が農業経営に十分活かされています。
- 2、会社勤めで異業種の仲間が多く、情報のネットワークをもっています。
- 3、地域(全国)の仲間と定期的に勉強会をしたり、市場やスーパーなどの売り場を覗いて消費者のニーズを探ります。
- 4、土作りや栽培方法を研究して、高品質、高付加価値の農産物を生産しています。また、そこで働く家族や従業員の人たちは明るくて、楽しく働いていることです。



古津



手塚

農家さんを訪問する時はとても緊張します。今まで10回くらい取材をさせていただきました。取材のたび、いつも感動をいただきます。栽培されている作物への深い愛情が伝わってくるからです。農業っていいなぁと感じる瞬間です。たくさんのご苦労話もありますが、それは良い作物を作るための努力で、話して下さっている顔が生き活きしていて皆さん、ステキでした。自然災害にも負けずに戦っている農家さんに、「頑張ってください」と声を掛けたいです。取材は、宿泊で行く事が多いので、現地で美味しいものを食べる事が出来た時には、感動が2倍になってしまいます。

農家さんを訪問する前には、栽培されている作物の特色やその地域の歴史、地勢を調べてインタビューに臨むようにしていますが、予備知識以外のお話を伺うのが楽しみで、農家さん訪問記を書く時のキーワードはこのような予想もしなかったお話から発想できる場合が多くあります。今後も、予想外の事柄を伺えればと思っております。



山脇



阿部

(前ページの続き)桃は毎年食べ頃になると誰かに食べられてしまうと教えてもらいました。えっ!その犯人は…熊!他の畑では被害にあっていないらしいのですが、「なぜか熊がうちの畑に真っ先にめがけてやってきては、おいしいところを食べてしまうのよ」と。熊にもおいしさがわかってしまうなんて、とてもおいしく栽培されているのだらうなと思いました。真っ先に食べられてしまうのは悲しいですが、自慢の作品ですね。

農家さん訪問の取材は、数週間前に日程を決めての一発勝負ですので、取材時の天気は運次第です。何度も行けば、雨に当たる日もあります。ただ、鹿児島で雨の日に取材したとき、本来は雨天では行かない畑での農機の作業を、私に見せるためだけに、農家さんが雨に濡れながら実演して下さいました。取材に雨は困りものなのですが、このときばかりは、農家さんの心遣いが嬉しく、とても思い出深い取材になりました。



南



鳥取

花栽培をやりたくて住友化学を退社し現在夢を実現している元同僚を訪ね、農家訪問記の取材をしました。農家訪問記の取材時間は農家の都合次第で調整します。通常は圃場(施設)の見学時間を含めて1.5~2時間ですが、この日は15年振りの再会で、思い出話も多く、取材時間は通常の倍以上の5時間近くになりました。さらに取材後の会食でも約3時間一緒でした。めったにないことですが、農家訪問記の取材(業務)と旧交を温めること(プライベート)が同時にできました。

[目次へ戻る](#)

編集メンバー紹介



します。

創刊100号を節目に、この場をお借りして編集メンバーを紹介いたします。創始メンバーから新人まで、実はこんなメンバーで毎月締め切りに追われながら作っています。それぞれの個性あふれる自己紹介をどうぞご覧ください。

黒田 芳一 担当：農家さん訪問記（部長）

会議等内勤の業務が多く、取材の当番が回ってくることを楽しみにしています。営業担当時代に農家の皆さんに多くのことを教わりました。それが肥やしになっているので追肥として取材にこれらも係わりたと思っています。

南 圭三郎 担当：発行責任者

記事デビューは2006年5月で、2011年1月より発行責任者を務めています。読者の皆様からの声を反映して、より良い内容にしていきたいと思えます。趣味は野鳥観察です。これからも宜しくお願い致します。

古津 昇 担当：お客様相談室長

趣味はそば打ちです。打った蕎麦やそばにまつわる料理を着て仲間と楽しく酒を飲むことです。スポーツはテニスですが、春から太極拳も始めました。呼吸法や動きをそば打ちに活かしたいとの思いからです。

お客様相談室

鈴木 亮平 担当：(MSDS・ラベル・安全性)

好きなこと：国産ワイン飲み歩き
ゴルフ
安くて美味しい店を探す

少々メタボ気味です・・・

鳥取 信正 担当：今月のお奨め農薬

お客様相談室の相談員は今年が4年目です。「今月のお奨め農薬」では問題病害虫の生態と総合的な防除法を記載しています。皆様の防除の参考になっていれればいいです。海外旅行が好きで毎年1回は行っています。

山脇 孝博 担当：農薬登録情報、お役立ちプチ情報

お客さま相談室の相談員となって、5年半です。現在まで、6000件を超える方からお電話をいただきました。現在の留守電でのご案内は私が担当しています。また、色々なイラストを作成し、i-農力だよりに掲載しています。

阿部 一恵 担当：農薬ガイド、広告

編集チーム歴、1年半になります。主にチラシ発注業務を担当しています。農家さん訪問はまだ2回。昨年からはじめた山登りで体力をつけて、全国へおじゃまし、初級者の素朴な疑問や新たな発見を皆様にお伝えできたらと思っています。

i-農力サイト管理

手塚 せつ子 担当：メールマガジン

今、小さなベランダで「いちご栽培」を楽しんでいます。これは3年くらい前に歩けの会で埼玉県鴻巣市で1株100円で2株買い求めたものです。小さなプランターで育てていますが、ちゃんとランナーが出て親株から独立したいちごが又ランナーを伸ばし三代目まで続いています。親株から花が咲き、二代目、三代目からも花が咲いている状態です。実になるまで育つかどうか不明ですが、去年は3粒ほど収穫が出来ました。帰省で水をあげられない日々でも、凍えるような寒い冬でも、枯れることなく頑張っている我が家のいちご！すごいでしょ。食べられるものを育てるのが好きです。

太田 有香 担当：編集、カレンダー

ピカピカの(?)新人で、今回の企画発案者です。毎月メンバーのお尻を叩いて記事を書いてもらっています。私もベランダでバジルを育て始めました！趣味はおいしいお店探すとカラオケです。佐伯さんのような立派な編集者に早くなれますように！

これからもよろしくお願ひします

[目次へ戻る](#)

“とっても美味しい梅干し“

通販サイト【Web エコアグロ】からのお知らせ



私達の食卓に「必ず」と言って良いほど登場するのが『梅干し』ですが、一般に『梅干し』が出回るようになったのは江戸時代からだといわれています。それまでは、庶民には無縁の高級品だったのでしょね。

今回は、弊社の通販で新たに取扱いを始めさせていただく福井県産の『梅干し』をご紹介します。福井県の梅は、明治初期ごろに品種改良が行われ、「紅映（べにさし）」、「剣先（けんさき）」という品種が生まれました。日本海の暖流の影響を受け、三方五湖周辺の穏やかな気候の地域を中心に栽培が続いています。肉厚で種子が小さく、ミネラル分が豊富に含まれるため『福井梅』として全国的に高い評価を受けています。



今回は、定番の『しそ漬け』、減塩タイプの『うす塩味』、ハチミツで漬けた『お菓子な梅』の3種類をご紹介します。いずれも900g入・送料込でのご案内となります。

ご自宅で召し上がっていただくほか、ギフト用としても最適なアイテムです。この機会に、是非お試し下さい。

- ♪ 「福井の梅干し」 しそ漬け 900g 【送料込】
<http://item.rakuten.co.jp/nihon-ecoagro/10000091/>
- ♪ 「福井の梅干し」 うす塩味 900g 【送料込】
<http://item.rakuten.co.jp/nihon-ecoagro/10000092/>
- ♪ 「福井の梅干し」 お菓子な梅 900g 【送料込】
<http://item.rakuten.co.jp/nihon-ecoagro/10000093/>



よろしければ、お試し下さい... 梅干しを使った「はさみ揚げ」



【材料】 3～4人分

豚ヒレ肉...約500g、梅干し...4～5個、大葉...16～20枚
薄力粉...大さじ1、卵...1個、パン粉...適量

【作り方】

梅干しは、種を取り除き軽く潰して梅肉にします。

豚ヒレ肉は4cm程度の厚さに切り、軽くコショウをします。

お肉の片方には梅肉を、もう片方には大葉(2枚)を乗せサンドします。

全体に薄力粉、卵、パン粉を施し160～170℃の油でこんがり揚げて下さい。



商品に関するお問い合わせ：

東京都中央区八丁堀4-5-4 日本エコアグロ(株) 電話 03-3523-8280
<http://www.nihon-ecoagro.co.jp/index.html>

[目次へ戻る](#)

～ 編集後記 ～



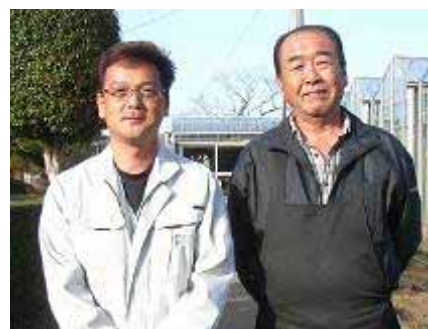
3度目の取材先が千葉県と聞いて、二十数年前、駆け出しの頃に担当者として一人で県の試験場へ挨拶に行ったときのことを思い出しました。入社して日が浅く、右も左もわからず、初めて一人で訪問した試験場でしたが、とても親切にしてくださいました。帰りのバスの便数が少ないからと言って最寄の駅まで送って下さったことが懐かしいです。関西人の私は千葉県の人は何と優しいのかと思いました。

今回取材させていただいた田中家も私が第一印象でもった千葉県民のイメージそのものでした。お父さんも幸一さんも温厚な方で、またご家族で楽しく農業をされているお話を伺うと、サラリーマンをしていますが、農業経験がなくても、本当に好きになればどんな努力も楽しみに変わるのかと感心しました。我々は日々自社製品の普及に係わる仕事をしていますが、担当している製品の技術云々の前に製品そのものを好きになることの方が先決で、その思いが技術論より使う人に届くのではないかと考えさせられました。田植え後何日に使えば良く効くというより、見渡す限りの水田に1回使ってもらおうという気持ちの方が大切なのかもしれませんね。(黒田)



今回の農家さん訪問記のインタビューで印象に残る話が幾つかありました。

お父さんの新市さんが病に倒れた時の話です。新市さんは会社勤めの息子・幸一さんに迷惑をかけられないと、自分一代で築いたハウスを畳もうと考えました。ところが、幸一さんが突然会社を辞められ、自分がトマト栽培を引き継ぐと宣言されました。それならと新市さんは全面的に協力しようと思ったそうです。その後、新市さんは無事退院され幸一さん中心のトマト作りになりました。幸一さんもお父さんの的確なアドバイスに大変助かっていると感謝されています。



田中幸一さんと根本商店の社長さん

また、幸一さんは電気設備の会社に勤めていたことで、ハウス内の制御盤（冷暖房・給水）の組み立てはお手の物です。事務所兼作業場の壁には幸一さんが設置した制御盤がきれいに並んでいます。販売でも興味あるお話を聞きました。幸一さんは産直市場には出荷しません。理由は効率が悪い点です。産直に出して売れ残った野菜は生産者がある日のうちに回収しなければなりません。スーパーマーケットなどで野菜の値段が高いときは産直で買う人が増えますが、普段はそれほどでもありません。そのため産直出荷は労多くして益が少ないと感じたそうです。その点、市場に出荷したものは全量引き取ってくれます。そして、本文にもありますが、翌日入金してくれるので経営が安定します。多分、会社勤めをされたことで、今までの常識にとらわれないトマト経営ができるのでしょう。

最後にもうひとつ印象に残ったことは、田中さん親子が異口同音に「何はさておいても家族の健康に勝るものはなし!」「奥さんには苦勞をかけて一生頭が上らない!」とお二人がおっしゃった言葉に素直に納得しました。(古津)

次月号の - 農力だよりは
5月31日(金)の発行予定です。
どうぞお楽しみに!!



[目次へ戻る](#)